令和８年度第１回　高浜市障害者地域自立支援協議会

本　会　議

# 会　議　概　要

日時：令和８年７月15日（水）
14時00分～15時20分
場所：いきいき広場　２階　いきいきホール

**１　あいさつ**

**〇会長挨拶**

**２　委員及び事務局紹介**

**３　報告**

**⑴　令和８年度自立支援協議会の会議体系について【資料２―１】**

（資料２－１を事務局が説明）

＜質問＞

・特になし。

**（特になし）**

**⑵　各部会の活動状況について【資料２―２～４】**

**■児・家族部会**

（資料２－２を部会長が説明）

**■防災部会**

（資料２－３を部会長が説明）

**■地域生活支援部会**

（資料２－４を部会長が説明）

・会　長

〇以上３つの部会からの報告について質問等はないか。なければ、私から質問がある。地域生活支援部会は次回の会議はいつか。

・事務局

〇９月以降、現在調整中である。

〇２点追加説明がある。

〇避難行動要支援者名簿の作成について、市の地域福祉グループが高浜まち協の協力を

得て、具体的に地域で個人の計画を作成して実際に有事の際に活かすためのモデル事業を実施している。防災部会に協力要請があり、メンバーの１人が高浜まち協と協働で活動している。また、手をつなぐ育成会にも協力を得て、聴き取りの練習を行った。

○地域生活支援拠点の登録として１事業所の申請があった。

**⑶　連絡会の活動状況について【資料３―１・２】**

（資料３―１・２を事務局が説明）

・会　長

○事業所で行っている研修で外部からの参加可能とあるが、どのような内容か。

・事務局

○他事業から参加したいと要望があり、実施する事業所内部で検討し、外部の参加を得て情報共有を図った。

・会　長

○今後も連携の輪が広がっていくと良い。

**⑷　医療的ケア児ＷＧの活動状況について【資料４】**

（資料４を事務局が説明）

・委　員

○医療的ケアを要する重度の肢体不自由に対応した生活介護の施設が高浜市にはないと認識している。就園・就学時以外でも就職や卒業時のところでも医療的ケア児コーディネーターとの連携が必要と考える。受け入れ施設がないのなら近隣市町が受け入れるのではなく、市内に施設が充実し、スムーズに利用できる体制整備が望まれる。

・事務局

○高等部を卒業した人が利用できる生活介護は市内にもあるが、少ないので定員が一杯の場合は受け入れられずに市外の事業所を利用せざるを得ないのは事実である。相談員が付いている利用者には事前に対応できるが、放課後等デイサービスなどのサービスを利用していない人は卒業時の対応になるので早めに相談いただけると良い。

○医療的ケア児は本人の状態に併せてやれることを考えていきたい。

○就労・就職の時は相談員が中心に対応している。医療的ケア児の場合、相談員しか持っていない情報とかコーディネーターしか持っていない情報があるので、誰もが同じように対応でき、活動できるような体制を作っていきたい。

○事業所が少ないのは市としては最大の悩みである。誘致する最善策がなく、ニーズがあることをＰＲするしかないと考えている。

・委　員

○他市の事例であるが、医療的ケア児の受け入れ先が市内になく近隣の複数の市にある施設を１日ずつ利用していた。高等部３年の時に実習を繰り返し行い、受け入れ先の準備体制を整えていたにもかかわらず、新年度になって行った先でも保護者ケアが付いているという現状である。好ましくない状況であり、本人を取り巻く支援者にとっても負担が大きく心身ともに休まらない状況は良くない。ここに医療的ケア児コーディネーターの役割があると思うし、相談支援も含め核となる人たちが時間をかけて丁寧に切れ目のない支援を進める必要があると痛感した。高浜市でも同じようなことが起こらないようにと思い報告した。

**⑸　令和８年度の研修事業について**

（虐待研修実施の報告事務局が説明）

・会　長

○他の研修はどうか。

・事務局

○精神障がいのある人への対応について教えてほしいという要望が多いので、保健所との連携し実施する。

○ハラスメントに関する研修の要望があるので考えていきたい。

・会　長

○報告事項について議論が一通り終わったところで、オブザーバーの地域アドバイザーからお話を頂きたい。

・オブザーバー

○地域アドバイザーの立場を説明すると、県の委託で各区圏域の相談支援体制整備を進めるものである。

○まちづくり協議会が避難行動要支援者名簿の作成に関わるのは、障がい福祉に関わりが薄い市民が一緒に考える機会を作ったということでとても意義がある。

○スタッフの疲弊、障がい福祉人材不足が深刻な中、今、現場で働いている職員のケアは大事である。事業所の研修で外部参加も可能にしているのはとても良い取組である。事業所間での壁を越えた連携はサービスの質の向上につながる。

○医療的ケア児など重度の受け入れについては、どこの市町でも課題となっている。一方、放課後等デイサービスなど障がい児のサービスは右肩上がりに増えている。そうした背景のもと、現在より受け入れ対象を広げてほしいという要望を既存事業所に聞いてもらえる機会を設けていく必要がある。

## ４　議事

### (1)　高浜市障がい者福祉計画（第６次）の骨子案について【資料５】

（資料５を事務局が説明）

・会　長

○前計画の到達点と残された課題は何であったかを踏まえて新しい計画づくりに反映すべきである。アンケート結果から浮かび上がってきた課題に踏み込んだのは良いところであるが、現計画で良かった部分を伸ばす、足らなかった部分を補う、こうした第５次の振り返りと、それを第６次計画にどう反映するか、そこに新たな課題にどう取り組むか、こうした流れを見えるように提示してもらえると、私たちも意見を言いやすくなる。今回は骨子なので、今後、計画の策定過程で留意してほしい。

○今後の検討スケジュールはどうなっているか。

・事務局

○この後、計画を策定する会議体である施策審議会が７月30日に第１回が開催される。本日提示した骨子案に加え、第５次計画の進捗状況と課題を提示する。その後、10月下旬に具体的内容を盛り込んだ計画案を審議会提示する。自立支援協議会には10月初旬に提示する。最終案を12月に提示し、１月にパブリックコメントとして市民の意見を聴取し、３月に決定という流れを予定している。

## ５　その他

### (1)　令和８年度第２回高浜市障害者地域自立支援協議会について

開催日時：令和８年10月７日（水）14：00

開催場所：いきいき広場１階　会議室Ｂ

以　上